

行政視察報告書

令和8年 3 月 25 日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 大橋延行

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和8年度恵風会行政視察研修
2. 視察期間 令和8年3月3日(火)～3月4日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①奈良県大和郡山市「豊臣兄弟」大和郡山大河ドラマ館
・観光振興や地域活性化の取り組みについて
 - ②奈良県大和郡山市紺屋町・町家再生について
 - ③兵庫県神戸市中央区「人と防災未来センター」
・防災教育の重要性と防災の取り組みについて
4. 調査内容感想等

・視察の目的

①長浜市で大河ドラマ館を開設されるがその方向性と観光産業活性化に対する取り組みについて。

②奈良県大和郡山氏紺屋町の町野菜背について

③兵庫県神戸市「人と防災未来センター」の視察・防災について

・視察内容

① 観光振興と地域活性化の取り組み

大和郡山城内にある郡山城ホール1階に設置され、豊臣秀長の生誕の日である3月2日にオープンされた。

開館時間は10時から17時 入館料は600円

ドラマの時代背景や登場人物の紹介、大河ドラマに使用された衣装や小道具が展示されていた

人の動線を考え、空間をうまく利用し施設の狭さを感じさせない展示方法であった。また映像設備を有効に活用されていた

長浜の大通寺会場等の展示等について参考になった。

大和郡山城を上手に利用されていたため長浜市においても、小谷山城址や賤ヶ岳・田上山砦と長浜城博物館と連携し観光客誘致及び地域活性化に寄与する参考になった

② 町家再生について

江戸時代から続く、街並みを保存活用し、特産である金魚に関するモニュメントや様々な展示手法にて、地域の特性を表現し、藍染めの染め物体験など地域の文化に触れることもできる工夫がなされていた。

長浜の黒壁ガラス館などの新たな方向性の参考になると考える

③ 人と防災未来センターの取り組み

阪神淡路大震災の災害にたいする教訓を次世代につたえ、防災に対する備えや技術の普及を目的に設置された

震災の映像や資料が展示され語り部による講和もあり、リアルな体験ができた。ただあまりにもリアルすぎ、様々な感情がフラッシュバックし自分自身には精神的に厳しい視察であった。

長浜においても地震災害や河川の氾濫等いつ起こるかわからない自然災害にたいして対応をしていかなければならない。市民の生命と財産を守るためには何をすべきか、机上の理論では対応できないと改めて感じた次第です。